

平成27年度「生徒及び保護者等を対象とするアンケート」結果から見た本校の課題等

<p>教育方針 学校経営</p>	<p>本校の掲げる教育方針や目標については、概ね理解されていると考えるが、それらに努めているかどうかについては、保護者のA評価が19%(3年保護者は13%)と低く、学校としては、今後さらに教育方針や目標の実現に向けた努力をしていく必要がある。</p> <p>「子どもはよるこんで学校に行っている」は、保護者のAB評価が82%、特にA評価が46%と高く、「本校に入学できてよかった」の生徒評価の高さとも合わせ、よるこんで毎日登校している姿が浮かんでくる。</p> <p>一方、一人一人のよさや可能性を伸ばしているかについては、生徒のAB評価が56%と60%に満たないだけでなく、A評価はわずかに12%しかないことを重く受け止め、今後の教育活動を改善していく必要がある。</p>
<p>家庭との 連携</p>	<p>一斉配信メールについては、昨年同様に保護者のAB評価が89%(A評価は60%)と高く、緊急時だけでなく、毎月の行事予定の配信等に効果的であると考え。</p> <p>ホームページ等を用いた速やかな情報伝達については、保護者のAB評価が66%(A評価は21%)とまだ十分とは言えない状況にある。</p>
<p>教職員</p>	<p>「職員は魅力ある学校づくりの意気込みが感じられる」は、保護者のAB評価が71%、CD評価が18%と、概ね理解は得られているが、A評価は21%であり、積極的な理解と共感が得られているとはいいがたい。</p> <p>「悩みや相談事に親切に対応してくれる先生が多い」は、生徒のAB評価が57%と60%に満たないだけでなく、A評価はわずか16%であることをしっかり受け止めたい。</p>
<p>学習指導</p>	<p>生徒用N011「本校では、テストの得点だけでなく、いろいろな面から学習の評価を行っている」という質問に対しては、本校の現在の成績評価の内規から考えると、A評価が少なく、AB評価の合計が52%とやや少ないのは致し方がない。しかし今後新入試に向けて「評価の方法」も妥当かどうか検討する必要がある。生徒用NO12、保護者用NO17、NO34「本校の生徒は、「補習(授業)等を通して一人一人の能力に応じた指導を行っている」類いの質問に対してA評価16%、AB評価合計59%と低い。個に対する効果的な指導をさらに研究・反省する必要がある。生徒用N013「本校では、教科により習熟度別授業や少人数授業があり、それが学習の理解につながっている」という質問に対してはA評価12%、AB評価合計で45%と非常に低い。選択の多い自然科学コースのみならず普通科についても生徒の理解度・満足度は低いと考えられる。本校の大きな課題である。</p>
<p>生徒指導</p>	<p>モラルマナー指導、身だしなみ指導、遅刻指導では生徒・保護者ともにプラス評価が70%以上の数値で微増あるいは横ばいである。保護者にも協力を仰ぎながら継続的に指導をしていく。また携帯電話の指導では特に生徒のプラス評価が83%と高い数値を示している。モラルだけでなく学校内での使用や一日の使用時間などの指導も必要と考える。</p> <p>教育相談やいじめ指導はプライバシーに配慮を必要とする面もあり周知されにくい部分であるが、要所々々で機能的に対応した。未然防止、早期発見、早期対応を基本に指導をしていく。</p>
<p>進路指導</p>	<p>全体的に昨年度よりプラス評価が多くなっていて、実践・実績が評価されつつあるとの印象が持てる。特に進路関係行事や進路情報の提供については、ここ数年にわたって種類・質ともに充実を図るとともに、ホームページや進路通信等で発信してきたことが奏功したものとする。</p> <p>しかし学習指導に関する項目では来年度に向けて課題が残ったといわざるを得ない。例えば、サタスタや補習について2年生を中心にマイナスな評価が目立つ。また総合学習についても今一つ高評価が少ない。指導方法や動機づけなど改善の必要がある。ただし両項目ともに3年生になるとプラス評価が高まっていることからすると、基本的な方向性に誤りがあるのではなく、どのように効果をあげるかという方法論上の問題ではないかと判断する。来年度に向け具体的な改善策を提案していきたい。</p>

健康管理 安全指導	<p>生徒アンケートの28の「清掃が行き届いており校内がきれいである。」の否定的な意見は、5%悪化し43%である。半数近くの生徒が現状に満足していない。学校への帰属意識を高め、清掃指導を工夫する必要がある。</p> <p>「防災マニュアルの周知」では、生徒は横ばいだが、保護者の回答が悪化している。生徒への配布物だけでなく、メール配信等でも周知を図る必要がある。</p>
学校行事等	<p>外部講師による講演会など、授業以外の学習の機会について、生徒・保護者ともに高い評価を得ている。HAVE A DREAM PROJECTなどで普段体験できないことが経験できることは、とても貴重な機会になっていると考えられる。</p> <p>桔梗祭、スポーツ大会等の学校行事にはおおむね満足している。また、部活動についても良好という結果が見える。その一方で、生徒会活動が活発だと感じている生徒は少ない。今後、生徒会をもっと前面に押し出す必要がある。</p> <p>ボランティアの指導・機会の提供について、ボランティアの呼びかけは昨年度以上に、通信を各クラスに配布し、担任を通じて呼びかけている。AB評価が50にとどまっているが、各担任の呼びかけ指導の差も大きいのではないかと。また、ボランティアはもちろん大事であるが、本校の生徒は課題・部活・ゼミ・課題研究などと時間的に余裕がない気がする。生徒によってはボランティア活動に積極的な者もいるのは事実であり、「ボランティア案内板」をつくり連絡するのも良い。自主的な生徒を育て、積極的に参加できる生徒を育てたい。</p> <p>また、各部・委員会単位でのボランティアも推進したい。顧問の理解と協力は必要不可欠である。積雪の際、野球部だけが除雪しているのも意識の低さか。意識を高める指導の機会を考えたい。</p>
学校独自 項目	<p>「サタスタや夏期補習を通して、きめ細かな学習指導がなされ、効果が上がっている」は、生徒のAB評価が49%、A評価は12%と指導の効果を生徒たちが実感できていない。</p> <p>朝SHR前10分間の朝読書については、生徒のAB評価が79%、A評価も45%と高く、彼らにとって有意義な時間となっている。</p> <p>情報モラルの指導については、生徒のAB評価が83%に達していて、一定の評価ができるが、今後もさらに継続していきたい。</p> <p>今年度から開始したアクティブラーニングの取組については、生徒のAB評価は学校全体では59%と60%に届かないが、1年生については73%と比較的高くなっている。ただ、1年生でもA評価は25%に過ぎず、まだまだこれから全職員で目的を共有しながら、研修等をとおして力量を高め、学校全体で取組を進めていきたい。</p>